

テーマ：『 地域素材を活用した総合的な学習の時間と理科・社会科（環境教育）の関連学習の創造 』

春日市立 白水小学校

Tel. 092-915-2525 担当 清尾 昌利

者：



■実践内容：

白水小学校では、第5学年児童が、校区に隣接している白水大池公園の自然・施設・歴史の改善・保全に向けた取り組みを行いました。実践した内容は、総合的な学習で子どもの興味や現地調査での課題をもとに自然環境・施設・歴史の3コースに別れ、課題解決学習を行いました。「自然環境コース」では、「野鳥の会」の方と観察会を行ったり、春日市環境課の方と池の水質調査などを行ったりしました。また「施設コース」では、よりよい公園にするために利用者にインタビューをし、清掃活動やPRブック作りを行いました。「歴史コース」では、江戸時代に白水大池の堤防を築いた偉人や治水の歴史について資料館や校区の歴史研究家の方の協力のもと調べました。調べたことは参観日で保護者や地域の方にPRするとともに、春日市環境フェアでもポスターで展示しました。

■実践成果：

自分が住んでいる自然環境が少ない春日市を「ふるさと」とする子ども達にとって、これらの活動を通し、校区や春日市の自然環境を含めた人・もの・ことを振り返り、そのよさを発見し発信・保全活動をすることで、地域の一員としての生き方を高め、地域への愛着を深めることへのきっかけとなりました。

■実践ポイント：

児童の主体的な問題解決活動ということに重点をおき、自然環境・施設・歴史の3つのコースを設定しました。課

題の発見, 解決を主体的に進めることができるよう地域・市役所・資料館の協力を頂きながら指導を行いました。